様式３(2020.08改)

作成日　令和２年９月９日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101390
事業所名	グループホームかみさの家

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
重点項目①	活発な交流へと発展していた地域の保育園との行事が、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中断している。 昨年度は、保育園で子どもたちとの交流会を行って、そのあと芋掘り(じゃが芋掘り、さつま芋掘り)を楽しんだ。利用者2～3名が子どもたちと一緒に畑に入り、他の利用者は畑の外から見物した。	○
	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
重点項目②	将棋を趣味とする利用者の意向を叶えるため、運営推進会議で将棋の相手をしてくれる地域のボランティアを探すお願いをした。 地域から1名の該当者(将棋相手ボラ)の紹介があり、対局する日程等を調整していたが、コロナ禍によって計画は中断を余儀なくされている。 会議では、毎回事故報告に関して活発な意見交換が行われている。	○
	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
重点項目③	市の介護相談員を受け入れており、毎月2名の介護相談員がホームを訪れて利用者の話を聞いている。利用者との懇談の後で、ホームと介護相談員とが意見交換を行っている。 現在は、介護相談員の受入れが中断している。	○
	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
重点項目④	国の緊急事態宣言の解除に合わせ、制限付きで家族の面会を認めていたが、8月の県の緊急事態宣言の発令により、再度面会禁止の措置をとっている。 年間3回(5月、9月、1月)の家族会についても、5月と9月は中止となった。	○
	その他軽減措置要件	評価
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

市の方針に沿って、３月と５月の運営推進会議は書面会議としたが、７月には通常のメンバーが集まってこれまで通りの会議を開催できた。
しかし、９月については再度書面会議とする方針である。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										